『何かを待ちながら』

脚本・黒島れい

あらすじ：

スワッピング後、ホテル前で互いの恋人を待つ有美と祥太は恋人との未来について語り合い、互いに乗り換える可能性を意識する。１０秒カウントして相手が戻らなかったら乗り換える賭けをするが、有美の恋人・良平が戻ってきた。しかし祥太の恋人・ヒカリは戻らなかった。祥太はヒカリを追い、有美は良平に別れを告げる。

場所：

ラブホテル街の道端。素舞台。（小道具　携帯・タバコ・ライター）

登場人物：

祥太　…　３０代男性。会社員。

有美　…　３０代女性。

良平　…　３０代男性。有美の恋人。

祥太・有美が横並びに立っている。

祥太　どうだった？
有美　どうって？
祥太　さっきまでのことというか
有美　ああ
祥太　失格？
有美　そんなことない
祥太　俺、やさしい方だと思うんだけど
有美　そうかもね
祥太　正直な意見聞きたい。せっかくだし
有美　やさしいと思うよ
祥太　だよな。逆に物足りないとかは？
有美　別にないけど
祥太　けど？
有美　楽しんだもん勝ちだよ。なんでそんな
祥太　・・・そうだよな。まぁそっか
有美　うん

・・・

祥太　いつも、その、こんなことを？
有美　ん？まあ
祥太　楽しくてやってるの？
有美　別に
祥太　反対したりする？
有美　しない
祥太　後で俺を訴えたりないよな？
有美　それはない
祥太　なぁ、何で
有美　ねえ

祥太　ごめん
有美　不安なの？
祥太　そりゃ。でも、相手にも相手？がいるんだから、安心といえば安心、かな
有美　うん？　・・・うん
祥太　うん

・・・

祥太　戻ってこないな

・・・

有美　まだ時間あるから
祥太　そうなんだよ。早く切り上げちゃったから

・・・

有美　楽しかったよ
祥太　ほんと？
有美　うん。もしかして自信ないの？
祥太　自信？　なんだよそれ
有美　・・・
祥太　ごめん。
　俺はさ、精一杯あいつのことを思ってヤってるよ普段。
ただ最近減ってるから、飽きちゃったのかなとか、思うんだよ、どうしても
有美　え？　減ってる理由がセックスの、技術的なものだと思ってるの？
祥太　多少そういうことでもあるだろう、とは
有美　そう
祥太　おふたりも、レスなの？
有美　別に
祥太　え？　じゃあなんで
有美　盛り上がるでしょ。この後が
祥太　この後？するの？　マジ？
有美　たぶんね。というかいつもそう

祥太　え、そうなんだ
有美　そっちはしないかも？
祥太　と、思うけど
有美　初めてだよね
祥太　ああ、うん

・・・

有美　毎回思うんだけどね。戻って来なかったらどうしようって
祥太　そうなんだ。それでも結局は戻ってくるんだろ？
有美　うん

・・・

祥太　で、戻って来なかったら？
有美　え？
祥太　どうしようと思ってるの？
有美　いや、ただ、どうしようって。いつもそう思っている間に戻ってくるから
祥太　聞きたい
有美　何を？
祥太　いつも考えていること
有美　いや・・・
祥太　興味あるんだ
有美　興味？・・・私に？
祥太　といより・・・
有美　彼氏の言いなりで、知らない男と寝るなんて？
祥太　そうじゃなくて
有美　別に言いなりじゃない
祥太　そうなの？
有美　ええ、好きでやってる
祥太　・・・

沈黙。

祥太　その・・・偶然？

有美　何が？

祥太　お互いスワッピングがアリなこと

有美　必然

祥太　必然って？

有美　・・・

祥太　何がいいの？

有美　何って？　スワッピング？

祥太　それはさ、そういうの好きな人っているだろうし。
・・・じゃなくて

有美　良平？

祥太　うん

有美　相性

祥太　そっか

有美　彼女さん、えっと

祥太　ヒカリ？

有美　そう。ヒカリさんの何がいいの？

祥太　難しいな。美人でもないしな

有美　・・・

祥太　いや、あいつこそ面食いなんだぜ

有美　・・・

祥太　微妙だよな。分かってるよ。まぁ現実はそんなもんだろ

・・・

祥太　相性か

有美　うん

・・・

祥太　・・・戻って来なくてもいいや

有美　戻って来なくても別れられるわけじゃないよ

祥太　そりゃそうだ
有美　別れたいの？
祥太　別れたい・・・違うな。今別れたら次は？　って思う。
　ただ、今この人と家庭を？　って想像したら、違うんじゃないのって
有美　好きで付き合ったんでしょ？
祥太　まぁな。誰だってそうだろ。きっとヒカリもさ
有美　何年目？
祥太　2年経つかな。そろそろ3年目。
　でもさ、別に宣言して付き合いが始まったんじゃないんだ。
　なら、このまま終わっちゃってもって
有美　それでも、あなたはここで待ってる
祥太　まあ
有美　彼女に委ねているの？
祥太　そうなのかもな
有美　情けないね
祥太　言うね

・・・

有美　出会えた喜びは一瞬なのに～ってね
祥太　どうして別れの苦しみは永遠なの～ってな

二人笑う。（※銀杏BOYS「東京」の歌詞）

祥太　こういうの聴くタイプじゃないと思ったよ
有美　・・・

沈黙。

有美　ねえ
祥太　何？
有美　今日戻って来なくても、相手とのつながりがさっぱりなくなるわけじゃない。でしょ？
　急に生活は変わらない。
　なんとなく、すれ違いを重ねていって、やがて嫌いになって
祥太　別れの苦しみが待ってんのかね？

有美　耐えられないよね。なら別れないほうがいいね
祥太　苦しいのは永遠じゃない。きっと
有美　お互い嫌いになるなり、別の人と出会うなり
祥太　何？
有美　別れがつらいのを知っているとなおさら別れられない
祥太　うん？
有美　何ていうの・・・別れるために、するカップルも多いって話

・・・

祥太　正直・・・乗り換えたい
有美　私は車じゃないよ
祥太　そういう意味じゃない
有美　それに良平は戻ってくるし
祥太　戻ればいいの？　我慢してない？

沈黙。

祥太　俺、彼氏さん・・・良平さん？以上じゃないよな？
有美　うん
祥太　何が足りない？
有美　何も足りなくないよ
祥太　でも
有美　十分だよ
祥太　優良企業ってやつだし、そこそこだよ色々と
有美　もったいないくらい。私には
祥太　なぁ、いくつ？
有美　歳？　３２。あなたは？
祥太　３４

祥太何か言いたげに見つめる。

有美　何？　いつまで続けるのかって

祥太　それ
有美　別れるまでかな
祥太　は？　何それ？
有美　え？
祥太　え？
有美　ああ。「結婚しないのか」とか言いたいの？　現実的じゃないでしょ、彼と私
祥太　知らないけど
有美　したいの？　結婚
祥太　そりゃあね
有美　ヒカリさんと？
祥太　それは分からない。正直、ヒカリは家庭的じゃない
有美　家庭的、ね
祥太　なんだよ
有美　別に
祥太　え、結婚したいとか思わないタイプ？
有美　まあ
祥太　何で？
有美　両親が仲悪かったから、とかでいい？
祥太　「とかでいい？」ってなんだよ。別に話したくないならいいよ
有美　結婚を考えてたこともあってね
祥太　話してくれんだ
有美　聞かれたから答えてるんだけど
祥太　ごめん。聞きたいよ
有美　ノリが合うし、楽で。男として色気はなかったけど安心感があって
祥太　言われたくないかな
有美　でも・・・遠くに行っちゃった
祥太　・・・そっか
有美　北海道の、千歳？空港のある
祥太　なんだよ
有美　転勤
祥太　まぁ遠いね。さすがに
有美　私、仕事好きで。好きなことの延長みたいで楽しくて。
お金にはあまりならない、それでもね。東京を離れたくないと思った

祥太　素敵だと思うよ
有美　結婚ってなったら、今手にしているもの全部捨てるのか、って、考えたら涙が出たりして
祥太　落ち着くまで離れて暮らすとかでもよかったんじゃないの？
有美　・・・彼がね。何となくだけど、そんなの捨てればって思っているような気がして
祥太　そっか。でもそう言ったわけじゃないだろ
有美　まぁ
祥太　理由も言わずに別れたの？
有美　ううん。その時に、コレを
祥太　・・・コレね
有美　彼も私も自信があった。お互い以上はいないって。
　ま、結果、お互い乗り換えたんだけど
祥太　は？
有美　で、今に至る、ってね
祥太　彼氏さんとはコレで出会って・・・付き合ったの？
有美　うん

・・・

祥太　あのさ
有美　何？
祥太　正直。よかった
有美　・・・そう？
祥太　うん。だってさ初対面だよ。なのに
有美　なのに、ね
祥太　なのにだよ。有美さんは？
有美　それなり
祥太　それなりか。でもハードルは下がるよな。しちゃったんだから
有美　そうだね
祥太　そう。だからさ
有美　何？
祥太　相手が戻って来なかったら、俺はまた会いたい
有美　戻って来たら、会わないのね？
祥太　それは・・・

有美　（笑う）まあ・・・潮時ってやつなのかもね
祥太　コレで始まったんだろ？　コレで終わったっていいんじゃないの？
有美　そうかもね。でも、戻って来なかったら、かな
祥太　そうか。気持ち的には？
有美　ねえ、結婚したいんでしょ
祥太　え、ああ
有美　今私に乗り換えて、何が変わるの？　現状と。私と彼女さん、何が違うの？
祥太　それは・・・
有美　冷めただけでしょ
祥太　きついな
有美　（冗談めいて）でしょ。なら、やめた方がいいね。私なんか

二人笑う。

有美　私、仕事続けたい
祥太　いいよ
有美　でも経済的には頼りたい
祥太　いいよ
有美　家事は全部はできない。苦手なこと多いし
祥太　うん。でも、やりたくない、じゃないだろ？
有美　好き、があれば、がんばりたい
祥太　なるほどね
有美　次はあなたの番
祥太　・・・うーん。やさしくしてほしい
有美　好きになれたらね
祥太　1日中セックスする日がほしい
有美　好きになれたらね
祥太　子供がほしい
有美　好きになれたらね
祥太　なんだよ。結局、恋からはじめないとダメじゃんか

二人笑う。

有美　ねえ、戻って来たら？
祥太　・・・
有美　踏み出せないんでしょ
祥太　まぁ
有美　私に委ねているの？　それとも彼女さんに？
祥太　どっちなんだろうな
有美　情けないね
祥太　言うね。まぁその通りか

・・・

祥太　好きになれたら、か
有美　うん
祥太　コレで出会って・・・ってさ。その、乗り換えたって話。
　相手が戻って来なかったの？
有美　そんなとこ
祥太　好きになったの？　交換して
有美　ま、そんなとこ
祥太　・・・
有美　向いてないね
祥太　何に？

沈黙。二人見つめ合う。

有美　賭けよう。１０秒カウントして戻って来なかったら。乗り換えよ
祥太　待って。俺に乗り換えて、有美さんは何が変わるの？
有美　「彼に冷めたの」でいい？
祥太　いや、それは
有美　１０、９、８、７
祥太　なあ

祥太、人の気配に気づく。

有美　6、5、4

祥太　何かは変わる気がする。好きになる気がする。だから

有美　（気づく）戻ってきたね

有美手を振る。

祥太　・・・（息をつく）

有美　だから、何？

祥太　え・・・

有美　（ため息）私は、別れるわ

祥太　なら

有美　もう遅い

祥太　・・・

良平入場。
有美は良平に近寄り腕を組み、去りかける。

祥太　なあ、待って

有美・良平立ち止まる。沈黙。

祥太　その、ヒカリは？

良平　・・・帰ったよ

祥太　は？　え、どこに？

良平　そこまで知るかよ。家じゃねぇの？

祥太　や、えっと。え、いつまで一緒だった？

良平　さっきまで

祥太　いつ別れた？

良平　さっきだよ

祥太　何か言ってた？

良平　あ？　ああ「楽しかった。じゃあね」って

祥太　いや、何だろう。そうなんだ。・・・違う、そこじゃなくてさ

有美　彼のことを

良平　ああ。ま、色々言ってたな
祥太　色々って？
良平　言わねぇよ。お前らだって好き勝手言ってたろ？
祥太　・・・まあ
良平　どうだった？
有美　え、彼？
良平　そう
祥太　待てよ。目の前でやめろよ
有美　よかったよ
良平　あっそ。俺も。（祥太に向かって）お前は？
有美　祥太さん
良平　あ？　ああショータさんは？
祥太　・・・楽しかった、です
良平　よかったね
祥太　・・・よかったね？
良平　ん？　彼女が登録したんだろ、だって。
　渋々でつまんなかったら最悪だろ。ショータさんも。有美も
祥太　まあ・・・その？
有美　彼女とどうだった？　って
良平　うん？　えーと・・・
祥太　いいよ。聞きたくない

・・・

良平　何食う？
有美　ラーメン
良平　いいね。豚骨細麺の気分だな
有美　いいね

・・・

良平　あんたは？
祥太　行かねぇよ

祥太　なあ
有美・良平　（立ち止まる）
祥太　・・・いや

・・・

祥太　有美さん
有美　何？
祥太　戻って来なかったってことだよな、ヒカリ
有美　分かんない。連絡は？

祥太携帯を確認する。

祥太　来てない
良平　・・・（ため息）
祥太　良平、さん？
良平　あ？
祥太　ヒカリと約束しました？
良平　約束って？
祥太　次会う約束
良平　・・・別に
有美　連絡先は？
良平　もらったけど
有美　あげた？
良平　あげた、な
有美　誘われたら行くの？
良平　誘われないよ
祥太　仮に、誘われたらの話ですよ
良平　さあ

沈黙。

祥太　俺、誘ってもいいですか？

良平　ん？　有美？
祥太　・・・ええ
良平　俺が決めることじゃない。どうすんの？
有美　・・・

沈黙。
良平二人から少し離れる。

祥太　別れるんだろ？

各々リアクション。
有美・良平、無言で見つめ合う。
ＳＥ：着信音（祥太にヒカリから）
祥太迷うが出る。
良平タバコを取り出し火をつけようとするがライターがつかず、着火を繰り返す。

祥太　（電話）・・・はい
良平　（タバコをあきらめる）そうなんだ
有美　そうなのかも
祥太　（電話）・・・そっか。いいよ。ゆっくり考えて。それじゃあ

祥太電話を切る。
沈黙。

祥太　あの
良平　今回じゃない。だろ？
有美　ねえ
良平　・・・ん？
有美　ねえ。いつまで夢見てるの？
良平　・・・さあ
有美　いつまともになるの？
良平　なんねぇよ
有美　私のこと・・・
良平　何だよ
有美　好き？

・・・

有美　ねえ
良平　そんなこと言う年じゃないだろ
有美　言ってくれないから分からないんでしょ
良平　（頭をかきむしる）
有美　ねえ
良平　俺の何がいいの？
有美　・・・
良平　暇つぶしなんだよ。有美にとって俺は
有美　お互いそうでしょ。何？　なんか未来でもあるの？　見せてくれるの？
良平　・・・俺と結婚とか、できないだろ
有美　じゃあ何で一緒にいるんだろうね

・・・

良平　俺には説明を求めんの？　自分は、俺の何がいいのか説明できないのに
有美　仕方ないでしょ。分かりにくいのよ。あなたが私を好きか分からない。
　思ったほどセックスもしないし。なんなの？
良平　今までの男は、あんたに夢中だったんだろうな
有美　俺は違うって？
良平　（笑う）
有美　その斜に構えた笑いやめてくんない？
良平　なんだそれ
有美　終わった夢にいつまでもクヨクヨして。
　この世で自分だけが不幸みたいな顔してんなっていうの
良平　何だよ、急に
有美　夢なんて、叶わなくて当たり前。そんなの挫折じゃない
良平　うるせぇな

祥太遠くの方に会釈する。
（ホテルスタッフが怒って出てきた）

祥太　ちょっと

良平　あんまりぐちゃぐちゃ言うなよ。抑えてんだよ

有美　何？　やってみなさいよ

祥太　待って待って。ホテルの人に怒られるから。場所変えるか、大人しくして

良平　順番待ちだよ。大目に見ろってんだよ

祥太　は？

有美　え、ここ使うの？

良平　４０６

祥太　さっきの部屋

有美　そうだっけ？

祥太　そう、ですよ

良平　好きだろ。オフィス

祥太　（独り言）さっきやったやり取り

有美　好き、だけど。え？　ラーメンは？

良平　待ち１０分くらいだって。先行く？

祥太　ちょっと。その

沈黙。

有美　えっと。ヒカリさん？　さっきの電話

祥太　え？　ああ、うん

有美　何だって？

祥太　うん、と。（口ごもり、良平を見る）

良平　何？

祥太　何じゃないですよ。どういうつもりですか？

良平　おー？

祥太　「乗り換えないか」って言われたって

有美　・・・へえ

・・・

良平　有美もあんたに言っただろ。似たようなこと

祥太　それは・・・

有美　「戻って来なかったら」ってね。良平は何のつもり？　積極的に誘ったわけ？

良平　別に。
　ま、「決めらんないってグダグダするならやめた方がいい」とは言ったけど

有美　（ため息）

・・・

祥太　は？　いやいや、おいおいイカれてんな。
　え？　ヒカリは何を悩むんだよ。この男がヒカリに合うわけない。アリなわけないだろ。
　俺の方がマシだろ、どう考えても

有美　そう彼女に言えば

良平　あんたが煮え切らないんだろ。なんだよ。どうしたいのお前

祥太　こっちのセリフだよ

良平　じゃあさ。何でやったの。コレ

祥太　・・・ヒカリがやりたいって

有美　だから。それがなんでって

祥太　は？　何で急に二対一みたいになってんの？　・・・は？

有美　あなたも受け入れたんでしょ

祥太　それは

良平　別れるためにするカップルも多い、からな

・・・

祥太　いや・・・。何言ってんの

良平　イチから恋愛できないだろ。もう。
　置いて行かれてんだよ

祥太　何にだよ？

沈黙。

祥太　おい、何にだよ？

良平　友だちとか。友だち

祥太　そんなことない。俺は俺で、一生懸命、やって

有美　（ため息）

祥太　あんたらはどうなんだよ

沈黙。
良平、時間を見る。

良平　先ラーメン行こ

良平、有美をうながす。祥太、去りかける有美の手を取る。

良平　3P？
祥太　ちげぇよ！
（有美に）連絡するから。また会いたい。有美さんは？
有美　・・・会ってもいい、けど・・・（静かに振り払う）
祥太　えっと

・・・

有美　ねえ
良平　何？
有美　何か言ったら？　ねえ
良平　好きにしろよ
有美　何それ、なんで？
良平　俺に止める権利ないよ
有美　何なのよ一体
良平　別れたいならいいよ。いいヤツ見つかるまでのつなぎなんだお互い
有美　（苦笑い）んっとね

良平電話をかける。

良平　（電話）・・・おっす。さっきはありがと。
・・・あー、もう一回戦どうかなって。うん・・・さっきのホテル
祥太　おう待てよ。相手誰だよ
良平　うるせぇバカ。
（電話）ごめん。・・・あ？　ショータ君？　・・・そうだね

良平、舌打ちをして切る。

祥太　ヒカリ？　何だって？
良平　代われって
祥太　代わる代わる
良平　切ったよ
祥太　は？
良平　自分のでかけろよ
祥太　（何も言えず）

祥太、ためらうが電話をかける。

祥太　（電話）・・・ヒカリ？　・・・あーその・・・
有美　・・・ねえ
良平　ん？
有美　別れよ

・・・

良平　・・・そっか
祥太　（電話）嫉妬かな。
・・・急に腹くくりたくなった。
・・・家？　・・・行くわ

祥太電話を切り退場。
長い沈黙。

有美　仕事は？
良平　探してるよ
有美　お酒もタバコも辞められないね
良平　あいつの方がよかった？
有美　茶化さないで
良平　いつか辞めるんじゃないの。酒もタバコも。
分かってて付き合ったんだろ
有美　そうね。分かってて付き合った私が悪いね
良平　嫌な言い方すんなよ

有美　バカみたい。ほんと。何期待して待ってんだろ私
良平　でも
有美　何？
良平　仕事・・・。探してないわけじゃない。
・・・できねぇんだよ何も。何にもできないんだよ俺は
有美　どうするの？　この先
良平　もうすぐ死ぬんじゃないの
有美　・・・あっそ

良平しゃがみ込む。

有美　好きなだけじゃダメだね。いい大人がさ
良平　ああ

・・・

有美　あの時、なんで彼女を捨てたの？
良平　うーん。有美に惚れたから
有美　嘘はやめて
良平　（ため息）

・・・

良平　あいつさ、「堕ろした」って言ったんだよ
有美　・・・そうなんだ
良平　ギリギリ２０代でデビューできてさ。対バンも早くに卒業して。
俺さ、意外と男のファン多くてさ。（笑う）
・・・でもダメだった。
３０になった。そんな俺に失望したんだろうね

・・・

良平　捨てられたんだよ

・・・

有美　はじめてだったな。他人の不幸を望んだのって

良平　ん？

有美　「スワッピングしよ」って彼が言ったの。別れたいんだなーって思った。
　色々なもの捨てても北海道についていく、それで良かったのに私は。でも

良平　ん？

有美　素直になれなかった。
　・・・そうじゃないのかな。
　人と生きる覚悟っていうか、私だけの人生じゃなくなるのが、嫌、だった

良平　皆そうだよ。悪いことじゃない

有美　後で分かったんだけどね。ものすごい出世だったみたい。
　それで転勤

良平　（笑う）

有美　笑えないよ

良平　やー。気の毒だなーって

有美　だからね。今二人は裕福に暮らしてんのよ、きっと

良平　呪いたいね

有美　（笑う）私もそう思った。でもね。今私が幸せなら「ふーん」で済む話なの

良平　（小さく）ふーん

有美　あなたは変わらない

良平　うん

有美　あなたとだと幸せになれない

良平　・・・うん

有美　否定してよ

良平　できないよ

　良平立ち上がる。

良平　たまに流れるんだ

有美　何が？

良平　俺の作った曲

有美　そうなの？　初めて聞いた

良平　汚ねぇレストランとかでさ。何回か一緒にいる時も流れたんだよ

有美　言ってよ

良平　恥ずかしいだろ

有美　（笑う）
良平　恥ずかしい・・・違うか。ドキドキしてたんだ
有美　ドキドキ？
良平　店の中で俺だけが知ってる。
　漠然とうまく行くって思ってたあの頃、そんで今
有美　どうしよ。これから

・・・

良平　（ため息）一回死んだ
有美　３０で？
良平　ああ
有美　亡霊なの？
良平　うーん。・・・なわけないよな
有美　なわけないね

良平立ち去ろうとする。

有美　なんか言ってよ
良平　（少しためらって）また死んだ

良平退場。
有美携帯を取り出し、操作する。

有美　（ため息）

暗転。